

二松学舎大学に対する改善報告書検討結果

<大学評価実施年度：2020年度>

<改善報告書検討実施年度：2024年度>

二松学舎大学から改善報告書の提出を受け、本協会は改善に向けた大学全体の取り組み、3点の改善課題の改善状況について検討を行った。その結果は、以下のとおりである。

<改善に向けた大学全体の取り組み>

大学評価（認証評価）結果を踏まえ、自己点検・評価及びFD活動の実施機関である「自己点検・評価実施委員会」において全学の枠組みで取り組むべき方針案を作成し、大学全体の質保証を担う「大学運営会議」において、審議・承認を行った。同会議で承認された方針に基づき、学長が各部局長へ全学的に取り組むを進めることを指示した。これを受けて、改善課題を指摘された当該学部及び研究科において改善に向けた取り組みを行った。また、「自己点検・評価実施委員会」において、具体的な改善状況を検証するための学内体制等を整備し、各部局での対応が所定要件等を満たしているか確認する仕組みを整えるなど、自己点検・評価の適切性の確保にも努めている。

<是正勧告、改善課題の改善状況>

提言の改善状況から、改善の成果が十分に表れているといえる。個別の提言への改善に向けた大学の取り組み及びそれに対する評価は、各提言に対する検討所見のとおりである。

1. 是正勧告

なし

2. 改善課題

No.	種 別	内 容
1	基準	基準4 教育課程・学習成果
	提言（全文）	文学研究科博士前期課程及び同博士後期課程では、学位授与方針に修得すべき知識、技能、能力等当該学位にふさわしい学習成果を授与する学位ごとに示していないため、改善が求められる。
	検討所見	文学研究科博士前期課程及び同博士後期課程では、学位授与方針に修得すべき知識、技能、能力等

二松学舎大学

		の当該学位にふさわしい学習成果を授与する学位ごとに示しており、改善が認められる。なお、文学研究科では博士前期課程及び同博士後期課程において授与する学位ごとに方針を定めているものの、当該研究科には各課程に国文学専攻と中国学専攻を有していることから、専攻別の方針の策定についても検討されたい。
No.	種 別	内 容
2	基準	基準4 教育課程・学習成果
	提言（全文）	文学部、国際政治経済学部国際政治経済学科及び同国際経営学科では、教育課程の編成・実施方針に教育課程の実施に関する基本的な考え方を示していない。また、文学研究科博士前期課程及び同博士後期課程では、教育課程の編成・実施方針を授与する学位ごとに示していないため、改善が求められる。
	検討所見	文学部、国際政治経済学部国際政治経済学科及び同国際経営学科では、教育課程の実施に関する基本的な考え方を示しており、教育課程の編成・実施方針を適切に定めている。また、文学研究科博士前期課程及び同博士後期課程では、教育課程の編成・実施方針を授与する学位ごとに定めており、改善が認められる。なお、文学研究科では博士前期課程及び同博士後期課程において授与する学位ごとに方針を定めているものの、当該研究科には各課程に国文学専攻と中国学専攻を有していることから、専攻別の方針の策定についても検討されたい。
No.	種 別	内 容
3	基準	基準6 教員・教員組織
	提言（全文）	教育改善に関する大学院固有のFDが行われていないため、修士課程及び博士前期課程・博士後期課程全体又は各研究科として、適切にこれを実施するよう、改善が求められる。

二松学舎大学

	検討所見	修士課程及び博士前期課程・博士後期課程全体において、教育改善に関する大学院固有のFDを行っており、改善が認められる。
--	------	--

<再度報告を求める事項>

なし

<弾力的措置にかかる要件の充足状況>

弾力的措置にかかる要件	前回の評価結果 における提言	改善状況
ア) 基準2「内部質保証」に関し、是正勧告及び改善課題のいずれも提言されていない。	無	—
イ) 基準4「教育課程・学習成果」に関し、是正勧告が提言されていない。	無	—
ウ) 基準4「教育課程・学習成果」の学習成果の測定に関しては、改善課題も付されていない。	無	—

以上